

	身に付けさせたい力	授業改善プラン
国語	◎順序よく話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。	・自分の考えを話す場面を計画的にとる。話の聞き方のルールを身に付けさせる。
	◎文章の読解や文章を書く力を伸ばす。	・文章の基礎的な読み取りの仕方を学び、簡単な作文を日常的に書く習慣を身に付けさせる。文の構成を意識して書けるようにする。
	◎カタカナ、漢字を正しく習得する。	・ドリルとノートを活用し、授業、朝学習、家庭学習で毎日漢字練習をさせる。作文などの添削を丁寧に行い、書き直しをして習得させる。
算数	◎基礎的な計算力を定着させる。	・授業の初めや、単元のまとめの時間に、計算ドリルやプリントで繰り返し練習させ、基礎的なたし算・ひき算の計算の習熟、かけ算九九の暗唱ができるようにする。
	◎考え方を図で表したり、発表したりする力を高める。	・問題を読み取り、図や言葉、式で表現したり、全体の場で発表したりする機会を意図的に設定する。考えを説明するための話し方の話型を示す。
生活	◎自然や身の回りのものに興味・関心を持ち、自分の気付いたことや自分の思いを伝える。	・自然や身の回りに関心をもたせる題材や教材を用意する。観察したことや気付いたことを文章や絵で表現したり、伝えたりさせる。
	◎友達と協力しながら、身近な人や自然、社会とかわって楽しく活動しようとする。	・児童が楽しく活動できる場面を設定し、意見を出し合せていろいろな考えに触れさせる。
音楽	◎声の響きに気を付けて元気よく歌う。 ◎声の響きに気を付けて歌う。(コロナ)	・自分の声や友達の声を聞くことを意識させながら、歌うようにさせる。(コロナ) ・体の動きを伴いながら範唱を聴くことで、リズムや旋律などの特徴に気付かせ、表現の工夫に生かせるようにする。
	◎鍵盤ハーモニカの基本的な奏法を身に付ける。	・息の吹き込み方や運指法を確実に身に付けさせる。 ・映像資料を見て、正しい奏法を確認する。演奏においては、家庭学習も取り入れる。
図画 工作	◎クレパスや絵の具の使い方を身に付けたり、材料の特性を生かしたりして、生き生きとした作品を生み出す。	・絵の具の使い方をさらに習熟させたり、材料の特性をつかませたりして、生き生きとした自由な表現をさせる。
	◎友達の作品の良さに気付き、自分の作品にも取り入れようとする。	・友達の作品をお互いに認め合い、その良いところを吸収し合う場面を作る。
体育	◎安全に気を付け、友達と仲よく運動に取り組む。	・安全に配慮した運動の仕方を意識させる。 ・励まし合いながら運動に取り組ませるようにする。
	◎鉄棒・なわとび・水泳・体づくり等の一人一人の技能を高める。	・鉄棒・なわとび・水泳・体づくり等、目標をもって努力する場面を大切にする。
	◎表現、リレー・ボール遊びなどの集団的なゲームに楽しんで取り組む。	・一人一人の小さな達成を友達と大きく喜び合う場面を設定する。勝敗にこだわりすぎずに、頑張ったことを認め合うようにさせる。
道徳	◎一人一人が自分の考えをもち、よりよく生きるための心情を育てる。	・児童の心に響く教材を選ぶ。 ・誰でも自分の考えをもち発言できるように、発問を工夫する。
	◎道徳的価値を現実の生活の中に生かす。	・授業の導入や自分についての振り返り、まとめの話では、学校生活や家庭生活での体験を思い出させ、道徳的価値と結び付けさせる。